

平成28年度鳥取県原子力防災訓練アンケート集計結果

【性別】

区分	人数	割合
男性	186	71%
女性	64	25%
無記入	11	4%
合計	261	100%

【年齢】

区分	人数	割合
10代以下	3	1%
20代	4	2%
30代	6	2%
40代	24	9%
50代	77	30%
60代	94	36%
70代以上	43	16%
無記入	10	4%
合計	261	100%

【住まい】

区分	人数	割合
①米子市	134	51%
②境港市	109	42%
③その他	4	2%
無記入	14	5%
合計	261	100%

【お住まいの地区】

地区名	人数	割合
和田	73	28%
大篠津	43	16%
外江	17	7%
渡	17	7%
誠道	16	6%
境	15	6%
上道	12	5%
余子	11	4%
中浜	9	3%
その他	12	5%
無記入	36	14%
合計	261	100%

問1 今回の訓練では、米子市及び境港市で緊急速報(エリア)メールの配信を行いました。このメールについて伺います。(携帯電話又はスマートフォンをお持ちの方のみご回答ください)

(1) ご利用の電話会社はどこですか？

区分	人数	割合
①ドコモ	124	48%
②KDDI (au)	70	27%
③ソフトバンク	32	12%
④その他	14	5%
無記入	21	8%
合計	261	100%

(2) 緊急速報(エリア)メールは受信できましたか？また、メールの受信に気が付きましたか？

区分	人数	割合
①受信でき、メールに気が付いた	158	61%
②受信できたが、メールに気が付かな	28	11%
③受信できなかった	45	17%
無記入	30	11%
合計	261	100%

(3) 受信できなかった理由として考えられるのは次のうちどれですか？

区分	人数	割合
①米子市又は境港市以外にいた	0	0%
②携帯電話の電源をきっていた	0	0%
③地下など通信圏外にいた	0	0%
④通話中だった	0	0%
⑤機種が対応していない	6	13%
⑥メールの受信設定をオフにしていた	2	4%
⑦原因はわからない	34	76%
無記入	3	7%
合計	45	100%

(4) お送りしたメールについて、内容がわかりましたか？

区分	人数	割合
①わかった	161	62%
②わからなかった	17	7%
無記入	83	32%
合計	261	100%

②の記載内容

問2 原子力防災講座についてお聞きます

(1) 内容はわかりましたか？

区分	人数	割合
①わかった	147	56%
②少しわかった	84	32%
③あまりわからなかった	4	2%
④わからなかった	3	1%
無記入	23	9%
合計	261	100%

④の記載内容

- ・大事な話なので30分は短いと思う。
- ・原発事故があった時の話をもっとしてほしい。
- ・声が小さく聞こえなかった。

(2) 内容(テーマ、説明の仕方、資料の内容等)は適切でしたか？

区分	人数	割合
①適切だった	148	57%
②ふつう	68	26%
③不適切だった	4	2%
無記入	41	16%
合計	261	100%

③の記載内容

- ・時間が短かった。時間に対して内容を盛り込み過ぎだと思う

問3 訓練を通じて避難退域時検査に関する事等、原子力防災に関して理解が深まりましたか？

区分	人数	割合
①深まった	117	45%
②少し深まった	121	46%
③あまり深まらなかった	10	4%
④深まらなかった	0	0%
無記入	13	5%
合計	261	100%

④の記載内容
・筆談用の紙、ペンを用意してほしい。 ・検査時にこれからする事の内容を記載したものを用意して対応してほしい。

- 問4 一時集結所への集合から避難退域時検査を受けるまで、今回の訓練で実施した一連の避難行動について県や市に改善してほしいところ、又は住民の皆さん自身で改善が必要と感じられたこと等がありますか？

区分	人数	割合
①ない	145	56%
②ある	63	24%
無記入	53	20%
合計	261	100%

②の記載内容
・指示の説明が聞こえないので、メガホンやマイクを使って聞こえるようにしてほしい。 ・現場での説明が不足しているので、次の行動について説明をしてほしい。 ・待ち時間が長いので、もっとスムーズな流れになるよう工夫してほしい。 ・防災行政無線が聞こえなかった(雨天時は特に聞こえにくいのでは?)。 ・全ての訓練を1階で行ってほしい。 ・高速道路を使用してほしい。 ・聴覚に障がいがあると要約筆記者がいないと説明がわからない。 ・緊迫感に欠けるので、もう少しスピード感がほしい。 ・外国言語の通訳者を増やしてほしい。

- 問5 原子力災害発生時に避難する際、もっと知っておきたい事、あるいは知りたい事について、下から当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

区分	回答数	割合
①避難指示の情報を知る方法	110	42%
②家族と連絡を取り合う方法	77	30%
③避難の方法(移動手段や避難経路)	114	44%
④被ばくを避けるための方法	76	29%
⑤避難後の生活	88	34%
⑥その他	6	2%
無記入	31	12%
合計	502	

⑥の記載内容
・避難する距離 ・原子力災害の状況 ・避難地の情報

- 問6 鳥取県(境港市・米子市)では、自家用車による避難を行う場合、渋滞による被ばくを避けたり、ガス欠を防ぐため島根原子力発電所に近い地域から「段階的避難」をすることとしています。このことについてお尋ねします。

- (1) 自分の住んでいる地域の段階的避難の区分を知っていますか？

区分	人数	割合
①知っている	100	38%
②知らない	135	52%
無記入	26	10%
合計	261	100%

(2) 段階的避難を行うために必要な事についてお気づきの点があればご記入ください。

記載内容
・段階的避難の周知徹底が必要 ・順序よく避難出来る方法をもっと周知することが必要 ・事前に基礎的な知識を得ることが必要 ・住民自身が段階的に避難について知ることが大事 ・エリアメールが流れた時点で、我先に行動を取ってしまうと思う。 ・マイク放送等、住民が安心する放送等をしていただきたい。 ・避難道路がわからない。 ・誰がどのように指示するのか知りたい。 ・行政がもっと住民に詳しく、最急にいろいろ知らせるべきである。 ・道路の通行確保ができていないか不安(通行止めや渋滞になる可能性が高い) ・市報で紹介してほしい。

問7 原子力災害時の避難手段について、次のうち、どれを利用しますか？

区分	人数	割合
①自家用車	189	72%
②バス	40	15%
③JR	11	4%
④その他	7	3%
無記入	14	5%
合計	261	100%

④の記載内容
・船舶による避難 ・わからない、決めてない。

問8 自家用車による避難が良いと思う理由(有効回答数:189)

区分	回答数	割合
①多くの家財を運ぶため	24	13%
②避難所到着後も移動しやすい	152	80%
③その他	34	18%
無記入	8	4%
合計	218	

③の記載内容
・家族(高齢者、障がい者)と共に避難できるため(一緒に行動できる)。 ・家族が一緒による安心感があるため。 ・ペットを運ぶため。 ・車が充電装置や宿代わりになるため。 ・バス等がすぐ来るとは思えないため。 ・避難場所の変更等の応用が利くため(避難後の交通手段の確保)。 ・バス・船・汽車等の調達ができるとは思えないため。 ・最も早く行動できるため。 ・避難所に入れない場合を考えて。 ・他県に親戚がいるのでそこに避難するため。

問9 バス・JR等による避難が良いと思う理由(有効回答数:58)

区分	回答数	割合
①自分で運転できない。または自家用	6	10%
②自家用車は交通渋滞や事故の心配	36	62%
③自分で避難所の場所を知らなくても	30	52%
④その他	0	0%
無記入	5	9%
合計	77	

④の記載内容

問10 その他、今回の訓練や原子力防災に関して、お気づきの点等がありましたら自由に記入ください

- ・貴重な体験ができ、災害に対する意識を持つことができた。
- ・原子力防災に関する意識を向上させることができた。
- ・いつ原発災害が発生するかわからないのに、今回のような組織だった避難ができるか疑問
- ・訓練を継続して行う必要があると思う(訓練は練度が大切だと思うから)。
- ・参加することで、必要なこと、今後に向けての気づくことが多くあった。
- ・情報がどう入るのか、家族の安否はどうやって確認すべきか、避難の手段はどのようなのか。
- ・身体の調子が悪い方、お年寄りの方などの移動は大変だと思う。
- ・説明の際、聞こえにくい時があったので、必ずハンドマイク等を使用してほしい。
- ・小中学生や保護者がもっと参加できるようにしたほうがよい。
- ・バス利用についてドライバーの確保はできるのか。
- ・広く市民に周知して訓練参加者を募ってほしい。
- ・事故のないよう、中国電力には気を引き締めて頑張っていたきたい。
- ・車両避難ができない場合を考え、大型船舶による避難訓練を希望する。
- ・今の時代何が起こるかわからない。常日頃からの準備が大事と思った。
- ・アンケートを書く時間が短いと思う。
- ・原子力災害時に、30km以上離れた場合どうなるのか。
- ・訓練に参加して原発の事故の大変さを体験することができ勉強になった。
- ・実際の災害時、いかに冷静に行動できるかはこれからの課題だと思う。
- ・バスの放射能測定の際は緊迫を感じた。
- ・参加者の年齢層が高めだったので、若い方々も参加できるような工夫が必要と思う。
- ・実際に災害が起きたら交通がマヒし、なかなか訓練のようにはいかないと思う。
- ・聴覚障がい者だが以前参加した時よりは改善されている部分もあるが、やはり少しわかりにくいと思う。特に説明があった時全くわからないので要約筆記者が必要
- ・寝たきり、車椅子でもほとんど自分で動けない人をどうするのか疑問
- ・訓練ではあるが、もっと一人一人が自覚すべきではないかと思う。
- ・段取り、説明が十分でない。県市等の職員の動きが悪い。
- ・今回の訓練は避難住民より行政側の訓練という感じが強い。
- ・最後に意見(行政側と住民側)交換会があると良かった。
- ・放射線の基礎知識の講習を事前に受けべきだと思う。

アンケート集計結果(境港市)

【回答いただいた情報】

区分	人数	%
男性	94	86%
女性	14	13%
無記入	1	1%
合計	109	100%

区分	人数	%
10代以下	1	1%
20代	0	0%
30代	3	3%
40代	5	5%
50代	13	12%
60代	50	46%
70代以上	37	34%
無記入	0	0%
合計	109	100%

区分	人数	%
①米子市		0%
②境港市	109	100%
③その他		0%
無記入		0%
合計	109	100%

お住まいの地区名

地区	人数	%
外江町	17	16%
誠道町	16	15%
渡町	16	15%
上道町	12	11%
余子	8	7%
中浜	6	6%
境地区	5	5%
明治町	3	3%
その他	14	13%
無記入	12	11%
合計	109	100%

問1 今回の訓練では、米子市及び境港市で緊急速報(エリア)メールの配信を行いました、

(1) ご利用の電話会社はどこですか？

区分	人数	%
①ドコモ	55	50%
②KDDI(au)	29	27%
③ソフトバンク	13	12%
④その他	10	9%
無記入(持っていない)	2	2%
合計	109	100%

(2) 緊急速報(エリア)メールは受信できましたか？また、メールの受信に気が付きましたか？

区分	人数	%
①受信でき、メールに気が付いた	83	76%
②受信できたが、メールに気が付かな	9	8%
③受信できなかった	12	11%
無記入	5	5%
合計	109	100%

(3) 受信できなかった理由として考えられるのは次のうちどれですか？

区分	人数	%
①米子市又は境港市以外にいた	0	0%
②携帯電話の電源をきっていた	0	0%
③地下など通信県外にいた	0	0%
④通話中だった	0	0%
⑤機種が対応していない	4	33%
⑥メールの受信設定をオフにしていた	1	8%
⑦原因はわからない	7	58%
無記入	0	0%
合計	12	100%

(4) お送りしたメールについて、内容がわかりましたか？

区分	人数	%
①わかった	78	72%
②わからなかった	5	5%
無記入	26	24%
合計	109	100%

②の記載内容

- ・メールを設定していない。
- ・気がつかなかった。

問2 原子力防災講座についてお聞きします。

(1) 内容はわかりましたか？

区分	人数	%
①わかった	67	61%
②少しわかった	34	31%
③あまりわからなかった	2	2%
④わからなかった	0	0%
無記入	6	6%
合計	109	100%

④の記載内容

(2) 内容(テーマ、説明の仕方、資料の内容等)は適切でしたか？

区分	人数	%
①適切だった	67	61%
②ふつう	26	24%
③不適切だった	1	1%
無記入	15	14%
合計	109	100%

③の記載内容

進み方が早かった
話し方が早口で高齢者に不向き
周りの職員の話し声が気になった

問3 訓練を通じて避難退域時検査に関する事等、原子力防災に関して理解が深まりましたか？

区分	人数	%
①深まった	47	43%
②少し深まった	53	49%
③あまり深まらなかった	7	6%
④深まらなかった	0	0%
無記入	2	2%
合計	109	100%

④の記載内容

問4 一時集結所への集合から避難退域時検査を受けるまで、今回の訓練で実施した一連の避難行動について県や市に改善してほしいところ、又は住民の皆さん自身で改善が必要と感じられたこと等がありますか？

区分	人数	%
①ない	60	55%
②ある	31	28%
無記入	18	17%
合計	109	100%

②の記載内容

・陸上だけの避難ではなく、会場への避難とかも検討。実際に車での移動となると道路が大渋滞して移動が難しい。
・被ばく検査が終わってから、次の行動について説明がなかった。
・JRは使用せず、直接避難する。(検査所へ行く)
・境港市は海が近いので艦で避難した方が早い。

- ・何のためにバス→JR→バスにしたのか。(待ち時間が長い)
- ・2年に1回くらいでよいと思う。(2名)
- ・避難所ごとにバスを変えて欲しい。
- ・待ち時間が長い。もうすこしスムーズにしてほしい。
- ・避難場所での案内説明の時、声が聞き取りにくかったので、メガホンなどを使用した方がよいと思う。
- ・自家用車両の参加も！！
- ・あまりにも伝達に時間がかかる。
- ・時間をせめて1時間に。
- ・指示の音が聞こえない。
- ・自家用車で避難する場合の検査場所の掌握。
- ・駐車場が狭い。
- ・列車から降りてバスがなかなか来ない。
- ・要介護者を車両等で運ぶときのポイント(身体の支え方など)
- ・消防団としての活動がないのに服装は活動服となっているが、あまり意味が無かった。
- ・簡易マイク必要。
- ・事故の理由は？
- ・車の洗浄方法を改善する(簡易洗車施設)
- ・避難の理由、原因の説明。
- ・説明・誘導者が入れ違い・多数で素早い行動ができなかった。

問5 原子力災害発生時に避難する際、もっと知っておきたい事、あるいは知りたい事について、下から当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

区分	回答数	%
①避難指示の情報をする方法	48	44%
②家族と連絡を取り合う方法	30	28%
③避難の方法(移動手段や避難経路)	56	51%
④被ばくを避けるための方法	31	28%
⑤避難後の生活	30	28%
⑥その他	1	1%
無記入	12	11%
合計	208	

⑥の記載内容

・避難距離の把握

問6 鳥取県(境港市・米子市)では、自家用車による避難を行う場合、渋滞による被ばくを避けたり、ガス欠を防ぐため島根原子力発電所に近い地域から「段階的避難」をすることとしています。このことについてお尋ねします。

(1) 自分の住んでいる地域の段階的避難の区分を知っていますか？

区分	人数	%
①知っている	47	43%
②知らない	53	49%
無記入	9	8%
合計	109	100%

(2) 段階的避難を行うために必要な事についてお気づきの点があればご記入ください。

記載内容

- ・誰がどのように指示するのですか？
- ・マイカーでは無理があるので、交通手段のことを知りたい。
- ・段階的避難の周知徹底。
- ・船からの避難訓練が必要かと思う。
- ・避難経路と避難場所。

- ・発生時、今自分が居る所は、どの位の時間がかかるのか、避難・危険は？時間的にどうなのか知りたい。
- ・家族がばらばらになる可能性がある。合流できるか心配。
- ・マイク放送等、住民が安心する放送等。
- ・基礎的な知識が必要。
- ・順序よく避難出来る方法をもっと周知させる。
- ・住民がどのようにしていつ避難出来るかを知ることが大事。

問7 原子力災害時の避難手段について、次のうち、どれを利用しますか？

区分	人数	%
①自家用車	78	72%
②バス	18	17%
③JR	4	4%
④その他	4	4%
無記入	5	5%
合計	109	100%

④の記載内容

- ・自治体の指示に従う。(2名)
- ・艦での避難。

問8 自家用車による避難が良いと思う理由(有効回答数:189)

区分	回答数	人数
①多くの家財を運ぶため	5	6%
②避難所到着後も移動しやすい	67	86%
③その他	14	18%
無記入	1	1%
合計	87	

③の記載内容

- ・ペットを運ぶため。
- ・バス等がすぐ来るとは思えない。
- ・家人(高齢者)と共に避難できる。(2名)
- ・自家用車しか手段がない。
- ・自宅が他県にあるのでそこに避難したい。
- ・家族が一緒だと安心。
- ・車が充電装置や宿代わりになるためです。
- ・家族が揃って避難出来る。
- ・バス・船・汽車等の調達ができるとは思えないから。
- ・最も早く行動できる。
- ・避難場所の変更等の応用が利く。

問9 バス・JR等による避難が良いと思う理由(有効回答数:58)

区分	回答数	%
①自分で運転できない。または自家用車がない。	2	8%
②自家用車は交通渋滞や事故の心配がある。	16	62%
③自分で避難所の場所を知らなくても避難所に到着できる。	12	46%
④その他		0%
無記入	4	15%
合計	34	

④の記載内容

問10 その他、今回の訓練や原子力防災に関して、お気づきの点等がありましたら自由に記入ください。

・訓練参加者の人選について。各自治体に任せられているようですが、高齢化などのため限界がある。行政から強制的にでも参加させるなど改めていただきたい。毎年参加者は同じ顔ぶれである。

・原子力発電所をとりやめること。避難訓練等もしなくて良いから。安全に生活ができるから。

・今回はわりと健康の人がほとんどでしたが、身体の調子が悪い方、お年寄りの方などの移動は大変だと思いました。

・情報がどう入るのか、家族の安否はどうやって確認すべきか、避難の手段はどうか。

・準備が大変だったと思います。実務担当者の方々に感謝です。

・訓練日程を日曜日にして、小中学生、保護者が参加できるようにする。

・避難をする際に、バス等に乗車して、どういうルートを通ってどこまで行くのかを説明して欲しい。

・バス利用についてドライバーの確保はできるのか。

・JRはダイヤどおりなのか？待ったが乗れなかった場合の対応は？

・何時原発災害が発生するかわからないのに今回のような組織だった避難ができるか疑問です。また避難先が鳥取県内に限られています。南側の岡山県側には設定されていないのですか？鳥取県内で完結するには無理です。避難民の受入れを他県にも要請していますか？やっていなかったら是非検討して下さい。訓練参加者は広く市民に周知して参加者を募って下さい。自治体レベルで止まっています。

・原子力防災に関する意識を向上させることができた。

・原発事故が発生したら、何Svくらい被ばくする可能性があるのか知りたいと思いました。

・何回かの訓練が必要と思う。

・今の時代何が起こるかわからない。常日頃から準備は大事と思った。

・一時避難所の指定建屋が必要(放射線を防ぐ建

・これまでの訓練の成果が発表されていない。市報等に発表すべきだ。

・講義の内容は良く理解できた。

・準備に大変苦労されたと思います。関係諸官庁の連携が上手くいっていたと思いました。ありがとうございました。いずれにしても事故のないよう、中国電力には気を引き締めて頑張ってくださいと思います。

・車両避難ができない場合を考え、大型船舶による避難訓練を希望する。

・原子力災害時に、30km以上離れた場合どうなるのか知識がほしい。